

難病患者在宅療養応援員

## フォロワーアップ研修会

平成25年1月27日(日)

関市公民館(わかくさプラザ)

「わたしとフラ」 講師 Mさん

(フラダンス教室主催)



山あり谷ありの人生の中で、今できることを見つけ楽しんでらっしゃる方もいるよ、という会員さんからのご紹介で、今回はリウマチという持病を持ちながらフラダンスに打ち込んでみえるMさんにお話を伺い、フラダンスの実演もしていただきました。

### Mさんのお話 (KNG誌より一部抜粋)

自分の体が日一日と壊れていく。何で？何で？私だけが？どうしてこんな目に遭わねばならないの？体が壊れると、心も壊れるということがよく分かりました。人間って脆いものです。私は神様を本当に憎みました。でも、赤ちゃんのようによろしくなるとしか出来ない状態の時に、私は神様に祈りました。「私はフラに出会えて、癒され幸せでした。でも、まだまだ踊り足りない。もっともっとと踊って、沢山の人にフラの楽しさや元気を与えてあげたい。踊りを教えてあげたい。もし、それが許されないのなら、早く天国に迎えて下さい」と毎日泣きながら祈りました。

今当分のことを振り返ってみて、よくぞあの悪夢のような先の見えないトンネル状態から立ち直れたと自分ながら感心します。「絶対にもう一度踊りたい」の執念が支えになったと思います。

私の言いたいことは、それぞれの方が心が心から打ち込めるものを探して夢中になれば、一時的にしる、痛み、辛さ、苦しみから逃れられたり、忘れていことが出来るのではないのでしょうか？ということですが、

未熟な私のつまらない体験した話ですが、お役に立てば幸いです。